

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	5132
部 名	教育総務部	課 名	学校施設課	課長名	角田 栄次
事務事業名	小・中学校校舎等整備事業 防球ネット等整備事業				
予算上の事務事業名	小・中学校校舎等整備事業 その他整備事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
学校施設の充実を図るため、校舎等の各種整備工事を行う。			対象校の児童・生徒及び教職員		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
鶴園小学校防球ネット設置工事 新宿小学校作業室兼倉庫設置工事 相原中学校作業室兼倉庫設置工事 谷口台小学校シャワー室設置工事 東林小学校シャワー室設置工事					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	29,136	49,466	18,953	25,700	28,270
一般財源	29,136	49,466	18,953	25,700	28,270
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,191	1,588	992	1,389	1,588
事業コスト合計	30,327	51,054	19,945	27,089	29,858
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	その他整備事業			対象名称と単位	施設数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,054	6,381	3,989	3,869	3,732
対象数	6	8	5	7	8
単位あたり経費(円)	842,333	797,625	797,800	552,714	466,500
前年度比		0.95	1.00	0.69	0.84

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	シャワー室・防球ネット・作業室兼倉庫設置	指標式と指標の説明	実施済工事等件数／事業費における執行工事済件数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	6.0	8.0	5.0		
目標	6.0	8.0	5.0	7.0	8.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備対象校数	指標式と指標の説明	整備済校数／整備予定校数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.0	3.0	2.0		
目標	2.0	3.0	2.0	2.0	3.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		合併に伴う施設数の増加と施設設備の均衡化等を十分に配慮していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
校舎の大規模改造事業等に併せて整備するなど経費削減に努めながら、計画的な整備を進める。			旧津久井町、旧相模湖町との合併済の状況等、さらに今後の藤野町、城山町との合併した後の状況等をとらえ、整備計画等について検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			